

「世界自然遺産」特別デザイン機の就航について

2021年03月20日
第20079号

日本トランスオーシャン航空(JTA、本社 那覇市、社長 青木紀将)及び、琉球エア・コミュニーター(RAC、本社 那覇市、社長 金城清典)は、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録に向けた推進活動を行っております。

この度、沖縄県が実施する世界自然遺産普及啓発事業の一環として、推薦地域(国頭村・大宜味村・東村・竹富町)の小・中学生を対象に図画コンクールが開催され、受賞作品のデザインを機材ヘラッピングすることになり、昨年に引き続き特別デザイン機を就航する運びになりました。

「世界自然遺産」特別デザイン機は、本日沖縄県主催による図画コンクール表彰式ならびに特別デザイン機のお披露目等のセレモニーを執り行った後、下記のとおり運航を開始する予定です。

◆「世界自然遺産号」特別デザイン機について

就航期間:2021年3月20日～ 約1年間(予定)

【JTA】機材 737-800型機 1機(座席数 165席、機体番号 JA11RK)

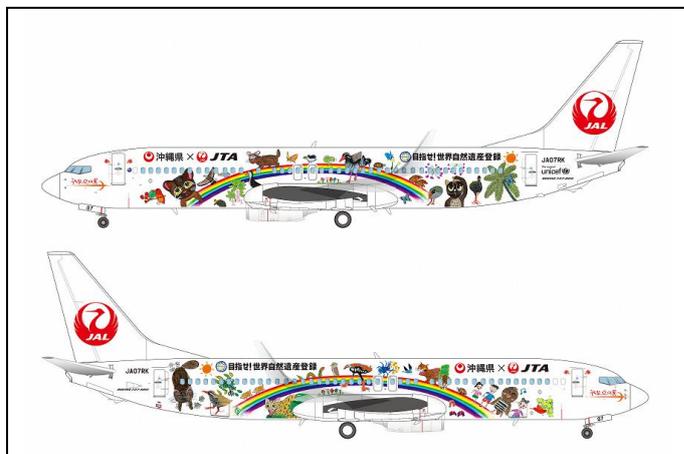
初就航便※:2021年3月21日(日) JTA551便(那覇発 07:25、宮古着 08:15)

【RAC】機材 DHC-8-Q400CC型機 1機(座席数 50席、機体番号 JA85RC)

初就航便※:2021年3月20日(土) RAC801便(那覇発 08:05、宮古着 09:00)

※注:機材変更などにより、就航日・便を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

JTA 機体イメージ



RAC 機体イメージ

